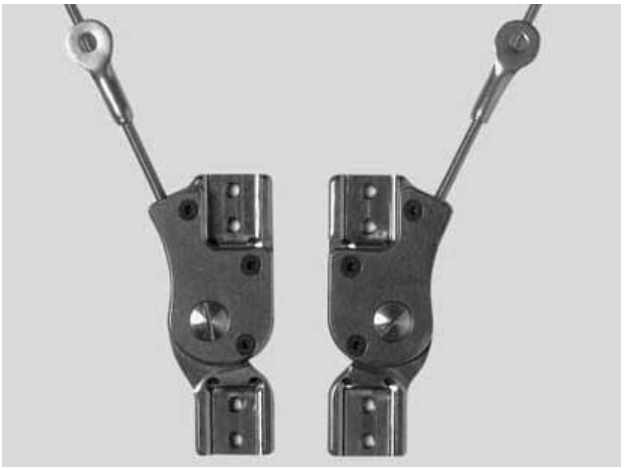
オットーボック装具　取扱説明書
17B105・17B106　モジュラー膝継手　ウェッジロック

義肢装具士をはじめとする医療従事者の方々へ

このたびは本製品をご採用いただきまして、誠にありがとうございます。本製品を安全にお取扱いいただくために、ご使用前に必ず取扱説明書をよくお読みいただき、使用される方に装着方法、使用上の注意、お手入れ方法などを必ずご案内ください。また取扱説明書は、必要な際にいつでも参照できるようにお手元に大切に保管してください。

【適応・用途】

『モジュラー膝継手　ウェッジロック 下腿内側カーブ付 17B105』『モジュラー膝継手　ウェッジロック 17B106』は、下肢装具用の膝継手パーツとして内側・外側一対で使用し、下肢筋肉組織の運動機能障害に対する支持・固定をします。



⚠ 注意	● 適応については、必ず医師の診断を受けてください。

注　記	● 『モジュラー膝継手 ウェッジロック 17B105/17B106』は、遊動機能もしくは背屈補助機能を有する足継手と組合わせて使用するように設計されています。背屈防止装置付の足継手と組合わせて使用した場合、装具全体に負荷がかかることになり、部品の消耗を招きます。 ● ケーブルリリースを使用する場合は、内側外側それぞれのケーブルを付属の部品（ケーブルハウジング）を用いて連結してください。詳しくは本取扱説明書『ケーブルの取付』の記載内容を参照ください。

【構造および構成部品】

(1) 30X75=*	膝継手上部パーツ（ウェッジロック用）
(2) 30U113=*	膝継手下部パーツ（ウェッジロック用）
(3) 513D19=0.63x4x20	圧縮コイルスプリング 0.63x4x20
(4) 17Y122	ロック用ウェッジ
(5) 4Z72=*	ベアリング ワッシャー
(6) 17Y17=*	ブラスブッシュ
(7) 17Y93=*	継手用軸受け， 501S32=* 継手用ネジ
(8) 17Y121=*	ウェッジロック継手用カバー
(9) 17Y123=M4x10	コネクションヘッドネジ M4x10
(10) 21A17=*	ケーブルハウジング
(11) 21A12	スレッドスリーブ ショート
(12) 21A7	ペルロンコード用 カップリングパーツ
(13) 21A25	21A7 カップリングパーツ用 バネ

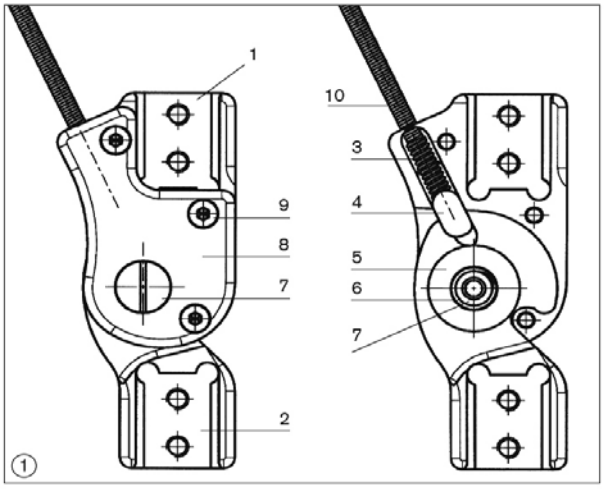


図 1

(1) 30X75=* 膝継手上部パーツ（ウェッジロック用）、(2) 30U113=*　膝継手下部パーツ（ウェッジロック用）、(8) 17Y121=* ウェッジロック継手用カバー、はチタン製です。

『モジュラー膝継手　ウェッジロック　17B105/17B106』は、軸継手ベアリング（ベアリング ワッシャー 4Z72=*）と放射状のベアリング（ブラスブッシュ　17Y17=*）の両方を「継手用軸受け　17Y93=*」で受けて継手が動きます。「ロック用ウェッジ 17Y122」は「圧縮コイルスプリング　513D19=0.63x4x20」と共に「膝継手下部パーツ（ウェッジロック用　30U113=*）」に組込まれています。

「ケーブルハウジング　21A17=*」の中を通る「ペルロンコード　21A18」により、継手のロック解除が行なわれます。

【組立方法】

膝継手は、前足部のレバーアーム（踏み返し部分）の長さや四肢の変形などにより非常に高い負荷を受けます。こうした負荷を軽減するためには、さまざまな構造をもつ支柱から適切なものを選択し、継手上下の連結部分にそれぞれを差込み連結し、アライメントの調整をしてください。

支柱の選択

下記より適切な支柱を選択します。

品名	発注品番	素材	左右	支柱幅	厚み	長さ	入数	
モジュラー支柱 フラットタイプ ストレート	17B4=16	ステンレス	兼用	16	4	410	1	
	17B4=20	ステンレス	兼用	20	4	410		
	17B4=16-T	チタン	兼用	16	4	410		
	17B4=20-T	チタン	兼用	20	4	410		
	17F52=12X3X220	アルミ	兼用	12	3	220		
	17F52=14X3X220	アルミ	兼用	14	3	220		
	17B6=16	アルミ	兼用	16	5	410		
	17B6=20	アルミ	兼用	20	5	410		
モジュラー支柱 ラットタイプ カーブ付	17B5=R16	ステンレス	右	16	4	450	1	
	17B5=L16	ステンレス	左	16	4	450		
	17B5=R20	ステンレス	右	20	4	450		
	17B5=L20	ステンレス	左	20	4	450		
	17B5=R16-T	チタン	右	16	4	450		
	17B5=L16-T	チタン	左	16	4	450		
	17B5=R20-T	チタン	右	20	4	450		
	17B5=L20-T	チタン	左	20	4	450		
	17B7=R16	アルミ	右	16	5	450		
	17B7=L16	アルミ	左	16	5	450		
	17B7=R20	アルミ	右	20	5	450		
	17B7=L20	アルミ	左	20	5	450		
モジュラー支柱 フラットタイプ 4 本セット	17B38=16	ステンレス	兼用	16	4	ストレート 410/ カーブ付 450	4 本セット	
	17B38=20	ステンレス	兼用	20	4	ストレート 410/ カーブ付 450		
	17B38=16-T	チタン	兼用	16	4	ストレート 410/ カーブ付 450		
	17B38=20-T	チタン	兼用	20	4	ストレート 410/ カーブ付 450		
	17B39=16	アルミ	兼用	16	5	ストレート 410/ カーブ付 450		
	17B39=20	アルミ	兼用	20	5	ストレート 410/ カーブ付 450		

品名	発注品番	素材	左右	支柱幅	厚み	長さ	入数	
モジュラー支柱 ラミネーション用 ストレート	17Y128=16x80	ステンレス	兼用	16	4	80	1	
	17Y128=16x100	ステンレス	兼用	16	4	100	1	
	17Y128=20x80	ステンレス	兼用	20	4	80	1	
	17Y128=20x100	ステンレス	兼用	20	4	100	1	
モジュラー支柱 ラミネーション用 カーブ付	17Y129=R16	ステンレス	右	16	4	100	1	
	17Y129=L16	ステンレス	左	16	4	100	1	
	17Y129=R20	ステンレス	右	20	4	100	1	
	17Y129=L20	ステンレス	左	20	4	100	1	

支柱の連結方法

① モジュラー支柱を継手に差込み、固定させます。その際、奥まで差込めない場合は支柱の先端を削るなどして調整します。(写真 1)
② ステンレス支柱とチタン支柱の先端（継手差込部分）には、厚み調整のために 1 ㎜厚のシムプレートが予め付属しています。必要に応じて、支柱の先端およびシムプレート周囲を削って調整し継手に差込んでください。(写真 2)
③ 継手と支柱を連結部分で固定させるためには、必ず金属類に適した接着剤を使用してください。(『オットーボック接着剤 636W28』については、オットーボック・ジャパンにお問合せください。)
④ 接着剤を使用する前にシンナーや溶剤を用い、連結部分の金属表面の脱脂処理を行なってください。
⑤ 接着主剤と硬化剤が入っている 2 本のチューブを混ぜ合わせ、継手の連結部分に塗り付けます。
⑥ 各支柱を連結部分に差込み、『フィリップス ヘッドネジ 501T7=7.5x9xM5』でねじ止めします。

写真 1

写真 2

⑦ 接着剤が初期硬化するまで 3 ～ 4 時間置いてください。さらに完全硬化するためには約 16 時間以上が必要となります。

ケーブルの取付

①「ベアリング ワッシャー 4Z72=*」に潤滑剤をさし、ブッシングの突起部分の上に置きます。
②「ケーブルハウジング 21A17」は涙目型のケーブルリテーナー 21A5 を使って装具に取付けることができます。このケーブルバウジングは、「ペルロンコード 21A18」を引っ張る時にコードの走行や引っ張りを補助します。
③「膝継手上部パーツ（ウェッジロック用） 30X75=*」に取付ける「ケーブルハウジング 21A17」は必要に応じて 10mm 程度まで短くすることができます。その際、3mm 程度膝継手上部パーツのネジ穴にしっかりとねじ込み、連結します。「ケーブルハウジング 21A17」は「ロックタイト 636K13」などで固定します。

注 記
- 「ケーブルハウジング 21A17」を膝継手上部パーツに 3mm 以上入れ、圧縮コイルスプリングを圧縮してねじ込むと、ロックの解除は固くなります。

④ ペルロンコードを必要な長さに調整した後、一方を『ペルロンコード用カップリングパーツ 21A7』の中に通し、『カップリングパーツ用 バネ 21A25』と『スレッドスリーブ ショート 21A12』を取付けます。もう一方のペルロンコードの端にも『スレッドスリーブ ショート 21A12 』を取付け（写真 3)、2 本を写真のように 連結 します (写真 4)。

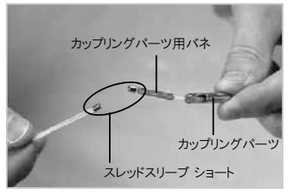


写真 3

写真 4

⑤ 上記以外にも義肢のケーブル連結のように、別売の『クランプスリーブ 21A8 』を用い、ペルロンコードの端をループ状にして連結する方法があります (写真 5、写真 6)。

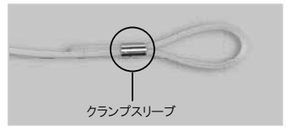


写真 5

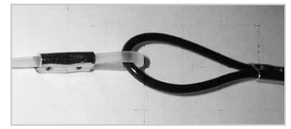


写真 6

注 記
- 素材が劣化するため、300° 以上の熱を加えないでください。また固定させた連結部分は熱加工しないでください。
- ロック機構が適切に機能するよう、継手の機構内に埃やゴミが入らないようにしてください。
- 必要に応じ、適した保護器具（例：継手用カバー）などをご使用ください。

⚠ 注意
- 装着者が装具を使用する前に、両側の継手軸が並行に動くこと、またロックが安全にかかることを確認してください。装着者には、本製品の主要な機能および装着方法等について必ず説明をしてください。
- 『モジュラー膝継手 ウェッジロック 17B105/17B106』は、継手が屈曲方向へ負荷がかかっている場合にはロック解除することができません。継手が完全伸展位の時にロックの解除を行なうことができます。

【お手入れ方法とメンテナンス方法】

継手の清掃とお手入れ

「コネクションヘッドネジ 17Y123=M4x10」を外し、「ウェッジロック継手用カバー 17Y121=*」を「膝継手上部パーツ（ウェッジロック用） 30X75=*」から外します。
「ブラスブッシュ 17Y17=*」が磨耗している場合には、交換することができます。

⚠ 注意
- ロック機構の明らかな磨耗は、装着者の安全性に影響を及ぼす可能性があります。必要に応じて、ロック機構のパーツやボルトなどを交換してください。

注 記
- 6 ヶ月ごとに本製品の機能と使用状況を点検されることをお勧めします。
『圧縮コイルスプリング 513D19=0.63x4x20』はこの 6 ヶ月ごとの点検時に新しいものに交換してください。

【メーカー責任】

オットーボックはメーカーとして、本取扱説明書で指定された取扱方法に従って製品を使用し、ならびに適切なお手入れ方法に従って定期的にメンテナンスした場合にのみ、その責任を負います。オットーボックはまた、本説明書の指示に従って製品の定期的なお手入れと確認を行なっていただくことをお勧めいたします。

【CE 整合性】

本製品は欧州医療機器に関するガイドライン 93/42/EEC の要件を満たし、ガイドラインの付表Ⅸの分類基準により、医療機器クラスⅠに分類されています。オットーボックはガイドラインの付表Ⅷに則り、本製品が CE 規格に適合していることを保証いたします。

（注）但し、日本においては本製品は医療機器の分野には分類されていません。

お問合わせ先

掲載内容の無断使用禁止

掲載されている内容、文章、画像については、無断で使用もしくは転載することを禁止します。

輸入販売元

オットーボック・ジャパン株式会社 www.ottobock.co.jp

〒108-0023 東京都港区芝浦4-4-44 横河ビル8F　TEL:03-3798-2111(代表) FAX:03-3798-2112

O-IFU-C-17B105/17B106-201406